

◆北九州市における耐震化の現状と課題

【北九州市の耐震化率の推移】

	H20 (計画策定時)	H26 (前回改定時)	R5	<現計画の目標>
住宅全体 [全国平均]	73.6% [79.1%]	85.2% [82.0%]	94.0% [89.7%]	R7 おおむね解消
うち木造戸建住宅	50.3%	73.4%	87.1%	
特定建築物	56.5%	85.9%	95.8%	R7 おおむね解消

【住宅の耐震化】

○全体としては、全国平均を上回り、**着実に進捗**しつつも、**木造戸建住宅の耐震化に課題**

<令和5年住宅土地統計調査>

- ・共同住宅の耐震化率が97.9%である一方、**木造戸建住宅の耐震化率は、87.1%**
- ・旧耐震の木造戸建住宅に居住する世帯主の**77%が、65歳以上**

【特定建築物※の耐震化】

○耐震化率は、95%を超え、**順調に進捗**。今後は、「大規模特定建築物」の対応を重視

※**特定建築物**  
不特定多数の者が利用する一定規模以上の建築物、危険物の貯蔵等の用途に供する建築物  
そのうち、特に規模の大きい建築物（5000㎡以上等）を「大規模特定建築物」という。

◆今後の計画の方向性

<p>【耐震化の目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○[住宅]令和17年度末までに</li> <li>○[大規模特定建築物]令和12年度末までに</li> </ul>	<p>耐震性が不足するものを <b>「おおむね解消」</b>する</p>
--	--

【従来からの取組み **継続**】

- 住宅・建築物の耐震化への補助金制度による支援
- 耐震化を促進する普及啓発(情報提供、セミナー、相談等)

【今後の課題への対応 **新規**】

○**木造戸建住宅の耐震化の強化**

- ・改修だけでなく、除却(建替・住替)も促進(**高齢者への除却費補助の拡充**)
- ・資金調達の選択肢を拡大(**リバースモーゲージ型融資との連携**)